

令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月19日(土)③

担当部局・担当課名: 知事政策局成長戦略室スタートアップ創業支援課

事業名	「とやまスタートアッププログラムin東京」事業	評価結果	一部改善
-----	-------------------------	------	------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・富山県ならではの特色はあるのか。
- ・スタートアップの立ち上げの後さらにどう支援するのか、スピード感が必要。
- ・既存の企業が保守的であるとすれば、そこをどう変えていくかという話と併せて取り組んでいかないと、フィールド自体は変わらない
- ・後継者不足の企業も支援対象にできるのではないか。
- ・この事業がエコシステムの推進につながるのならやり続けられれば良いが、つながらないのならやめるべき。
- ・地元の企業、金融機関、大学生たちをどのようにして巻き込んでいくのか、またいかに波及させていくのかなどの仕組みづくりが大事。
- ・事業についてアドバイスしてくれる人を常につなぎ止めておくことが必要

【県民評価者の意見】

特になし

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数 20

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (現時点での事業廃止、民間が独自実施)	役割分担 見直し (民間の比重増・県の役割の変更)	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
		2	1	5	8
県民評価者の 主なコメント	【一部改善】 ・対象を大学、専門学校だけに絞らず、高等専門学校や高等学校にも拡大してみてもどうか。 ・ベンチャーに対する意欲がある人は、自分から調べ、参加すると思うが、それ以外の人にも興味をもってもらえる取組が広がればさらにこの事業の拡充につながる感じる。 ・参加者が少なく感じるため、広報活動をより活発に行ってほしい。				
	【行政の関与不要】 ・わざわざ東京で開催する必要はない。やるのであれば、支援策として県内で開催すればよい。 【役割分担見直し】 ・民間主導にすべき。県は前面に立つのではなく、後方支援に徹するべき。 【抜本的改善】 ・受講後のフォローアップが重要ではないか。 ・県が実施する以上、富山県で起業してもらわないといけないのではないか。 【現行どおり・拡充】 ・東京・富山県内ともに継続してほしい。エコシステムの形成、ロールモデルの輩出で最終的に県が介入しなくてもよい環境になればよい。				

【参考】委員による評価

委員総数 4

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
		0	0	0	3

事業名	「とやまスタートアッププログラムin東京」事業	評価結果	一部改善
------------	-------------------------	-------------	------

【県の対応】

今後の 対応方針	一部改善	事業内容見直し			
	○高校生等にとって、まずは起業を将来の選択肢の一つとしてもらえるよう創業機運の醸成を図るため、新たな起業体験プログラムを実施 ○SNS (Instagram) や県出身者等が参加するコミュニティ(ウェルビーイング・コミュニティとやま等)での発信、起業支援窓口のある大学での説明会等を実施するなど、受講生募集の周知を強化				
令和6年度 当初予算 での対応	R6当初予算 (要求額)	12,760(千円)	R5当初予算	12,760(千円)	増減額 なし
	増減理由	-			

当初予算編成プロセスの見える化

令和6 年度 当初 予算	要求 状況	要求額	12,760(千円)	前年度予算額	12,760(千円)	
		事業の目的	幸せ人口1000万の実現に向け、県外人材を呼び込むとともに、県内のスタートアップエコシステムの形成に向け、ロールモデル(手本)となる成功事例を生み出すため、優秀な起業家を発掘することでスタートアップの裾野を広げ、県内での起業や大学発ベンチャー設立につなげる。			
		事業内容	①受講生の募集 (HP・チラシ・ポスターの作成、SNSやオンラインコミュニティでの周知、説明会の開催) ②実践的なピッチ演習及び成果発表会の実施 ③成果報告書の作成			
		積算内訳	委託料11,660千円、事務費1,100千円			
	予算編成過程における議論	レビューにおける意見を踏まえ、高校生など若者の創業機運醸成に向けたイベント等、参加者を増やすための広報活動を行うなど、適切な見直しが行われている。				
	最終的 な 予算 案	予算額	12,760千円	/		
要求時点からの変更点		変更なし				